（1）　（明治25年3月28日第3種郵便物認可・昭和24年2月17日運輸省特別扱承認第16号）
THE JOMO SHIMBUN　昭和62年（1987年）11月8日　（日曜日）　第33324号　（日刊）

上毛新聞
発行所（〒371）
前橋市古市町1－50－21
上毛新聞社
電話　前橋(0272)51－4341(代表)
夜間、休日電話
(編集)4343・4344
(広告・販売・事業)4392
(出版)4347
(制作)4345（発送)4363
© 上毛新聞社　1987

伊香保温泉湯元
横手館
電話〇二七九－七二－三二四四（大代表）

市街地再開発　高崎、前橋中心に活発化

密集地に中高層ビル

伊勢崎や桐生でも　補助金は2.3倍（前年度比）に

狭い木造低層住宅の密集地域に、土地を高度利用できる中高層の共同建築物（再開発ビル）を建設し、地域に活力を呼び戻す「市街地再開発事業」が高崎、前橋両市を中心に活発化している。県土木部によると、本年度の全事業に対する国、県の補助金総額は前年度の二・三倍の約三億五千万円にのぼり、事業がピークとなる来年度は十億円にも達する勢いだ。さらに伊勢崎、桐生、沼田などの周辺都市でも、基本計画調査などの取り組みが始まっており、東京、埼玉などの大都市圏に比べて出遅れていた本県の都市再開発事業は、ようやく本格化の兆しが現れてきた。

市街地再開発事業は、都市の中で土地の高度利用を図るべき地区でありながら、低層木造住宅などが密集、公共施設も未整備で災害の危険も高い、といった地区が対象。地区内の建物を全面的に除去し、新たに再開発ビルを建設する手法で、店舗や事務所などを入居させ、地区の活性化を目指す。

本県では四十年代まで、同事業は全く実施されなかった。だが、上越新幹線の開通などによって、東京との時間的距離が短縮。高崎市などでビル建設の動きが活発化し、市街地が徐々に変革していく中で事業化の機運が高まり、五十年代に入ると同市の駅東口や、中心商店街の一角で取り組みが始まった。

県土木部によると、高崎市では市中部名店街B―1地区など三地区で事業が終了、駅西口第一、第二地区、東口第二地区など七地区で計画中。施行済み、計画中を合わせ、対象面積は三万三千七百平方㍍、総事業費は約二百七十億円にのぼっている。また、前橋市でも千代田町二丁目の八番街地区で計画が進んでいるほか、駅前の表町二丁目地区でも基本計画策定作業に入っている。

事業費に対する補助金は、国が三分の一、県が六分の一と決められているが、本年の補助金総額は国が二億四五百万円、県が約一億円で昨年度実績（国一億三百五万円、県五千三百万円）を大幅に上回った。来年度は高崎市を中心に計画中の事業が相次ぎ本格化するため、国費で億円強、県費で三億円前後の補助が見込まれている。

こうした動きは、他市にも波及。伊勢崎市では、市中心部の平和町地区を対象に基本計画調査を実施、再開発に意欲を見せているほか、桐生でも駅周辺の区画整備事業に合わせ、借家人などが居住するための再開発住宅の建設（計画では鉄筋四階建て、二十四戸、敷地面積約二千平方㍍）を検討、準備を進めている。また、沼田市下之町地区では都市計画道路の建設と並行し、再開発事業への地元要望が高まっており、本年度から市が調査に入った。

再開発事業は「床を売り、建物をつくる」という手法のため、商店や事務所など新た

かが、事業化の大きなポイント。このため、計画されている事業は、立地条件の良い駅前や中心商店街の一角に限られている。しかし、県内の各都市ではいたる所で木造低層住宅の密集地区がみられ、今後、都市化の進展とともに、事業化は確実に活発化していくものとみられる。

あす太田で高齢者議会

市老人ク連合会

「活力ある高齢化社会を」と、太田市老人クラブ連合会（木村弘道会長）はあす九日、「高齢者議会」（市、市議会など後援）を開く。

同連合会所属の市内九支部から選出された三十人が議員となり、男女九人が一般質問に立つが、質問内容は「高齢者住宅建設」「老人保健施設の設置」などのほか、交通・農幅広い内容となりそう。質問時間は一人十分以内で、市長や各担当部長が答弁する。議長は木村会長（鳥之郷）、副議長には新井玄要さん（宝泉）が予定されている。

17日から縦覧開始

北関東道の優先着工区間

前橋・駒形町住民　環境対策で意見書も

北関東自動車道・優先着工区間（高崎市上滝町―伊勢崎市三和町、一四・九㌔）の都市計画決定作業を進めている県は、今月十七日から県都市計画課、前橋市、高崎市、伊課で、ルートを示した二千五百分の一の計画図と環境影響評価準備書の縦覧を開始する。縦覧期間は二週間で、期間内に関係地域住民からの意見書を受け付ける。

同自動車道は、建設省の第十次道路整備五カ年計画で重点事業に位置づけられており、県では来年三月に予定されている都市計画地方審議会で都市計画決定を行い、早期事業化を目指す方針。

一方、住宅密集地を通過する予定の前橋市駒形町の沿線住民の一部から、騒音や排気ガス問題で通過に反対する声が出ていたが、同住民は縦覧を受けて、環境保全対策などの充実を求める意見書を提出する構えをみせている。

この問題では八月の地元説明会で、住民が国や県、市に対しルート変更を要求するなどして紛糾、説明会開催を求めていたが、説明会は行われないままになっている。反対住民の一人は「説明会を望んでいたが、縦覧が決まってしまった。準備書など詳細に検討し問題点を追及したい」としている。

きょうの臨時大会で解散へ

県同盟

県同盟（星野純会長）はきょう八日、前橋・県勤労福祉センターで臨時大会を開き、今月十九日に県同盟を解散し、翌二十日に新たな組織「群馬労働総同盟」（略称・群馬県同盟）に移行することを決める。

今月二十日に中央で全民労連（連合）が設立されるのに伴い、上部組織の同盟が解散するための措置。

臨時大会では、移行を確認する議案や、新組織の綱領、規約、活動方針などに関する六議案を提案、本県でも中央にならい早期に全民労連群馬地方連合（群馬連合）を結成することを確認する。

移行後も来年三月の定期大会までは、現役員が役員を継承していく。

上毛で始まる一日　一世紀
PRESS JOMO　創刊100周年

主なニュース

県美術展の入選入賞者（10面）
桐生の交通共済ピンチ（23面）
テレビ特集　25～28面

両大臣　意欲満々のスタート

竹下新政権の発足から一夜明けた七日、本県選出の小渕恵三内閣官房長官と中島源太郎文相の両大臣は、さっそく執務室に入り、事務引き継ぎ、秘書官からのレクチャー、記者会見など、びっしり詰まったスケジュールをこなし、意欲満々で政務をスタートさせた。

重責をかみしめて…

小渕官房長官

小渕氏は組閣作業の疲れもほとんど見せず、官邸入り。記者会見では「気持ちを引き締めてスタートするので、よろしく」と改めて決意を語った。前夜の閣僚名簿発表の際の緊張感とは打って変わって、会見中には時々、笑顔を見せるほどの余裕。終了後、記者団から閣僚名簿の読み飛ばしについて聞かれると、「いやー、緊張していたのかなー」と照れ笑い。

記者たちに囲まれ、記者会見場に向かう小渕氏＝首相官邸

前夜は、認証式が大幅に遅れ、民放テレビに出演して「長い一日だった」と感想を語った時は、午前零時を回っていた。秘書や地元関係者の待つ東京・王子の自宅に戻ったのは、午前三時近く。身内だけで就任を祝ったあと床に着き、六時過ぎには起床。「緊張していたのか、あまり眠れなかったようだ」（秘書）と言うが、重責をかみしめながらも晴々しい表情だ。

この日は、宮家へのあいさつ回りのあと記者会見。地元や支持者からの祝福や激励の電話など、対応に追われた。午後二時半からは、竹下首相の初の記者会見に石原信雄官房副長官（事務）とともに出席。「竹下内閣の官房は石原さんとの上州コンビに任せて下さい」と自信満々だった。

笑顔で「頑張ります」

中島文部大臣

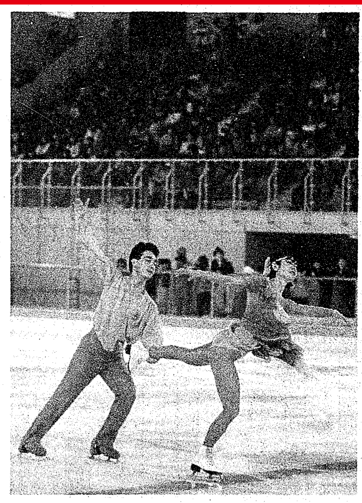
中島文相は、七日朝から東京・元赤坂の東宮御所など各宮家へのあいさつ、塩川正十郎前文相との事務引き継ぎ、文部省職員へのあいさつ、報道各社のインタビュー対応など、忙しい日程をこなした。お祝いに訪れた客への応対のため、二時間ほどの睡眠だったが、「ぐっすり眠れたから大丈夫」とさわやかな笑顔を見せた。

前文相の塩川氏（左）から激励を受ける中島文部大臣＝文部大臣室

前夜は皇居での認証式、首相官邸での初閣議が遅れ、文部省に初登庁したのは午後十一時半。この後、直ちに文部記者会の合同記者会見に臨み、自宅に戻ったのは午前零時過ぎ。自宅は文相就任を祝うため駆けつけた地元関係者らがひっきりなしに出入りし、苦労をともにしたたね子夫人と水入らずで喜びに浸る間もなかった。

この日は午前十一時、大臣室で同じ安倍派の塩川前文相とともに事務引き継ぎ書に署名。塩川氏から「頑張ってください」と激励を受けた中島文相は、笑顔で「足跡を汚さぬよう頑張ります」とこたえ、ガッチリと握手。

この後、中島文相は課長補佐以上の二百人の職員を前に「教育改革は竹下内閣の重要政策の柱。精いっぱいやるつもりです。私は素直な気持ちで皆さんのしった激励を受け、全国民の教育の推進のため全力を尽くしたい」とあいさつ。高石邦男同省事務次官ら幹部と握手を交わした。



開所記念に花を添えたアイスショー＝県総合体育センター屋内スケート場

盛大に開所式典

県屋内スケート場　きょうオープン

前橋

伊香保国体のフィギュアスケート会場となる前橋市関根町の県総合体育センター「屋内スケート場」はきょう八日、オープンする。これを前にした七日、同センターでは開所式典と記念アトラクションが行われ、観覧席を埋めた約千六百人の入場者は、元五輪選手でフィギュアの佐野稔さんらによるアイスショーなどを楽しんだ。

同スケート場は、鉄筋コンクリート造り二階建て（一部鉄骨造り）約五千四百平方㍍。県が十二億八千万円を投じ、今年一月から建設していたもので、六十㍍×三十㍍のリンクが設置され、固定席、立ち見席合わせて二千百十六人が収容できる。十月から三月まではスケート場、四月から九月まではテニス、バドミントン、軽スポーツができる施設となる。

開所式典は県スポーツ振興事業団の設立十周年式典を兼ね、県や市町村、体育関係者ら二百三十人が出席して開かれた。清水知事は「スケート、軽スポーツと、年間を通じて大いに利用してもらいたい」と式辞。これに対し、スケート関係の競技団体を代表して、久保田富一郎県スケート連盟会長が「この日を十年待ち望んでいた。伊香保国体で恩返しをしたい」と謝辞を述べた。

この後、屋内スケート場で記念アトラクションが行われ、アイスショーや、伊香保国体強化選手らの模範滑走に一般入場者から盛んな拍手が送られた。

同スケート場の滑走料は一般千円、学生五百円だが、オープン初日の八日は無料開放される。

待望のホームステイ

青年海外派遣団　バンクーバーに到着

【バンクーバー六日小林均上毛新聞特派員】県の青年海外派遣団（団長・新井稔彦県立女子大事務局長）の一行四十八人は、六日午前八時（日本時間七日午前一時）にシアトル市をバスで出発、四時間後に第三の訪問地、カナダのバンクーバー市に到着した。

一行は午後、市内を視察した後、今回の研修の最大目的であるホームステイに入るため、同市街地から東に車で一時間走ったアボツフォード地区に到着。午後五時に、ホストファミリー二十家族と対面した。二人ずつペアになった青年団員四十人は、二泊三日のホームステイを始めたが、新井団長は「国際マナーなどこれまでの皆さんの海外生活は合格点。ホームステイでの健闘を祈ります」と団員を励ました。

あすの新聞は休みます

は休ませていただきます。ご了承下さい。

上毛新聞社

三山春秋

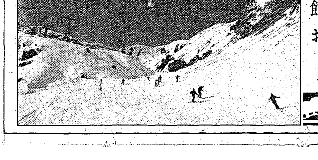
カラオケの「命くれない」がはやっている。題名から「何もしてくれない」と、不満やるせない人を指す「くれない族」を連想したが、違った。画面には花嫁姿が現れ、冒頭の歌詞に男女を結ぶ「赤い縄」がうたわれている。〝くれない〟は〝紅〟だった▼古くから「結び」には願いごとがこめられていて、時には神秘的でさえある。夫婦の縁もそのひとつだが、豊年を祈る〝生（いく）結び〟長寿を願う〝魂（たま）結び〟など呪（じゅ）術や信仰の世界に生き続けた。社寺の境内で、木の枝に結ばれた願掛けを今も見受ける▼ある秋の朝、庭先のムラサキシキブに見つけた結び文の話が本紙[illegible]ひろば」に載ったのは[illegible]年前の十一月七日。[illegible]道すがら朝な夕なに観[illegible]枝の紫式部の垂れてゆ[illegible]しき」それにこたえて[illegible]人に訪ふ友の眸のなか[illegible]映る紫式部のあえかな[illegible]色」見事な短歌のやり[illegible]りと、王朝絵巻き源氏[illegible]語の作者にちなんだ木[illegible]実の鮮やかな紫色が、[illegible]者に強い印象を残した[illegible]それから一年、紫の実[illegible]なり、枝に再び結び文[illegible]届く。が、投稿の歌人[illegible]西沢艶子さんは既に[illegible]に倒れ、ほどなく亡く[illegible]られる。「ひろば」で知[illegible]れるとおりの経過で—[illegible]生前の西沢さんは「詩[illegible]ろ豊かなこの歌の主[illegible]せひお目にかかりた「ゆかしいうたの主[illegible]電話でお声だけでもよ[illegible]…」と訴えていた。〝みずくき〟のあとから、文の主は女性と、推理していた様子だったが、対面できずに終わった▼読者の声も「本人を知りたい」、そして『ひろば』の仲間へ」との期待が強いが、半面、故人も知りえなかった人だから、いつまでも神秘の彼方に置きたいとの思いもあり、複雑だ。知っているのは、紫の木の実のみ—。

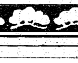
お申込みは、本社　前橋0272－66－3885㈹
（西毛）高崎0273－22－2704㈹
（東毛）太田0276－46－2703㈹
〈夜間〉　0272－66－1072
（夜間休日も営業）
〈見積無料〉
引越は安心できる専門業者へ！
梱包から・解梱・不用物の処理・不要品の保管まで
引越・梱包（ダンボール包装、エアーキャップ包装）
関東近県・全国輸送
群馬引越センター　駒形運送

家庭教師〝自宅派遣〟
県内一円家庭教師指導伺います。
教師数五六〇名（三月現在）
★小学生★中学生★高校生コース
性格、能力に合わせ親身な指導で
可能性を伸ばす
意欲がわく、やる気が出る、
競争心がつく効果的な学習
連絡先　高崎事務局☎0273㊶1285㈹
伊勢崎事務局☎0270㉓5211㈹
家庭教師センター学院

岩崎宏美　イン　クリスマス
'87 12月9日(水)　お1人様¥25,000(税・サ込)
★第1部6:00pm～第2部8:30pm～新館2階 鶴の間
マーキュリーホテル
〒371前橋市大友町3-24-1　☎0272(52)0111㈹

〔忘・新年会特別企画〕
ホテル櫻井、毎年好評「忘・新プラン」
日頃のご愛顧に感謝を込めてセット致します!!
●グループで…泊って忘・新年会 ゆったり飲んで、語って…
歌謡ゴールデンショー、
ディスコ・カラオケ……、
館内で2次会もOK!!
お楽しみ処…ホテル櫻井。
フジテレビ「女子プロレス」番組他放映
ホテル櫻井歌謡ゴールデンショー
11月　11月10日～12日　古都清乃
11月　11月24日～12月8日　青山和子
12月　12月9日～12月23日　三船和子
クリスマススペシャルショー　角川博　12月24日　神野美伽　12月25日
12月　12月26日～12月29日　青山和子
正月　1月1日～1月5日　お笑いバラエティーショー
1月　1月6日～1月20日　五月みどり
日本の草津・日本の芸術・日本の櫻井
〈施設のご案内〉
●収容1,200名様 ●ロビー ●ラウンジ●大名屋敷●唐獅子御殿●グランドパレス●ロドンの館●カフェド・パリ●酔いどれ広場●ディスコ●ナイトクラブ●ゲームコーナー●ショッピングアーケード●大浴場(男・女)●大宴会場(4ケ所)●小宴会場●レストラン●プール●駐車場(バス60台・車300台収容)
政府登録国際観光旅館
草津白根観光　ホテル櫻井
〒377-17 群馬県草津町　☎027988－3211　予約直通3217
安心してお泊りになれます。
お申し込みは旅行代理店へ――　●ご予算、その他ご相談くださいませ。





この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。